

①・丸山病院長就任ご挨拶

研究・教育の充実による世界最高基準の医療提供で、大学病院として継続的な社会貢献を。

「神経線維腫症総合医療センター」ができました

②・教えて！この言葉「発達障害」

・病院からのお知らせ

・ナディック通信

・診療に医学生が参加します！

・特定基金 医学部附属病院支援事業へのご協力をお願い

・かわらばん HPのご案内

名古屋大学医学部附属病院

理念 ● 診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。

基本方針 ● 1. 安全かつ高度な医療を提供します。 2. 優れた医療人を養成します。
3. 次代を担う新しい医療を開拓します。 4. 地域と社会に貢献します。

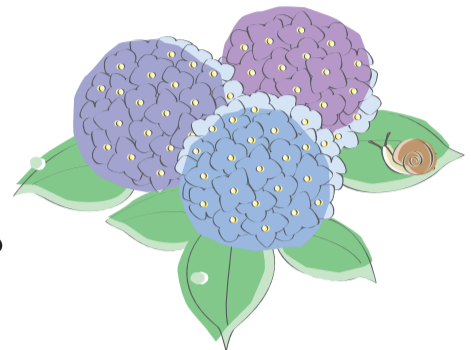
〒466-8560 名古屋市長和区鶴舞町65番地 TEL 052-741-2111 (代表)

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>

ホームページで「かわらばん」のバックナンバーをご覧いただけます

特集 TOPICS ① 丸山病院長就任ご挨拶

研究・教育の充実による世界最高基準の医療提供で、 大学病院として継続的な社会貢献を。



2024年4月、丸山彰一教授が新たに病院長に就任しました。

就任のご挨拶として、名大病院の現況や今後のビジョンについて伺いました。



4月より小寺泰弘前病院長の後任として、名古屋大学医学部附属病院長を拝命しました。患者さん、地域の皆さまには、いつも当院の運営にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。この場を借りてご挨拶を申し上げます。

当院は大学病院として診療・研究・教育を通じて社会貢献を行う役割を担っています。診療面では世界最高水準の医療の提供により、がんや小児白血病の治療、移植医療などを強みに高難度の症例に対応しています。先進的な医療提供を支えるため、全国の病院の中でも率先して高度な医療安全の文化を醸成してきたことも当院の特長です。

研究面では臨床研究中核病院として最先端の医療研究を進めています。次代へ新しい医療を提供できるのもこれまでの診療で蓄積された医療データを活用できるからこそで、そのご協力を深く感謝いたします。教育面では、若手医師や看護師などの研修に力を入れており、患者さんのご理解のもと臨床現場で学ばせていただいています。

大学病院の責務として
診療・研究・教育を推進

一方、より良い医療を届けるためには最先端の研究の継続が欠かせず、それには相応の時間と資金が必要です。世界における日本の医学研究力の低下が懸念されるなか、医師の働き方改革を進めながら、いかに高度な研究と診療を両立させるかが重要な課題となっています。そこで当院は、DX（デジタルトランスフォーメーション）などで業務の効率化を図るとともに、企業や行政と協働し新しい医療開発をリードしていきたいと考えています。

また、広く社会の皆さまにご支援をお願いし、それを診療・研究・教育の充実に活用させていただきたいと思っています。今、日本の大学病院は非常に厳しい経営状況にあります。当院は全スタッフが「将来もこの地域の医療を支えていく」という使命感を持って業務に向き合っています。今後も全員で努力を重ねてまいりますので、皆さまには一層のご理解、ご支援をお願いできれば幸いです。

当院では、当院でしか対応できない高度で先進的な医療を要する患者さんが多く集まります。そのため、今後の展望としては、救急医療体制や手術体制のさらなる強化を検討しています。ただ、高度な医療を提供したくともスタッフ不足ではままたまならず、看護師をはじめ医療スタッフに選ばれる病院になるための環境づくりにも力を入れていきます。

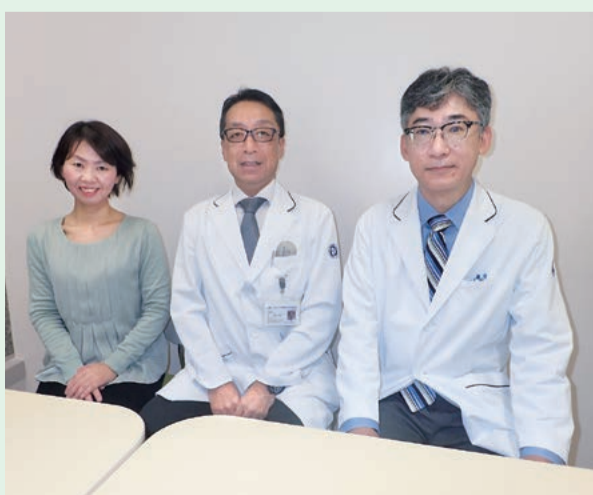
コロナ禍で当院は全国でも一二を争う人数の重症患者さんを受け入れ、全診療科で一致団結して対応したことで多くの患者さんを回復に導くことができました。社会貢献への意識が高い優秀なスタッフが多いことは当院の強みであり、患者さんのためにも、そうした人材が安心して働ける環境を整えたいと考えています。

当院でしか対応できない患者さんのために

DX化や産学官連携を進め、
医療開発をリードしたい

「神経線維腫症総合医療センター」ができました

神経線維腫症総合医療センター長 西田 佳弘



▲(左から) 森川真紀 認定遺伝カウンセラー、西田佳弘 センター長、城所博之 副センター長

神経線維腫症1型(NF1、レックリングハウゼン病)は、日本国内の患者さんの数が推定4万人と非常に多い遺伝性の指定難病です。年齢に応じて身体の様々な部位に多彩な症状・病気が発生しますので、小児科、整形外科、脳神経外科、眼科、皮膚科、形成外科、精神科など多くの科の医師や認定遺伝カウンセラーによって患者さん、ご家族を適切に診療する必要があります。出生時よりカフェ・オ・レ斑というコーヒー牛乳色した色素斑(しみ)があり、徐々に増えることを特徴としています。しかし、これら以外の症状を診療されていない患者さんが多くいらっしゃる事が問題となっていました。

当院では2014年1月よりNF1患者さんに対する多科・多職種診療を開始し、多くの患者さんを診療しています。このたび2024年3月1日に正式に名大病院「神経線維腫症総合医療センター」として組織化され、これまでの診療をいっそう活性化する土台ができました。また、より多くの患者さん、ご家族、関連する医療者の方々に対して、診療や活動を「見える化」して情報を発信していきます。将来的には神経線維腫症2型(NF2)の患者さんに対する診療体制も整備する予定ですので名称を「神経線維腫症」としています。一方、3歳から18歳のNF1患者さんで、症候性(症状で困っていて)で外科的切除困難な叢状(そうじょう)神経線維腫(皮膚ではなく、皮膚よりも深い部位に発生した神経線維腫)に対してセルメチニブ(商品名:コセルゴ)が保険適用となりました。本薬剤の適切な使用にも努めてまいります。今後、本センターの活動に期待していただくとともにご支援のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

教えて!

この言葉

発達障害

親と子どもの心療科 准教授 高橋 長秀

近年、メディアでよく「発達障害」という言葉を耳にされるのではないのでしょうか？発達障害の正式な医学的な名称は「神経発達症」で、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症（ADHD）、限局性学習症（学習障害）などが含まれます。神経発達症は生まれつきの体質で、自閉スペクトラム症ではコミュニケーションが苦手・こだわりが強い、ADHDであれば、多動衝動性・不注意が強い、限局性学習症であれば、知的には問題がないのに、読み・書き・計算が極端に苦手であるなどの特徴があります。自閉スペクトラム症は2.5%、ADHDは5～10%、限局性学習症は15% ぐらいのお子さんに見られると考えられています。

完全に理由は分かっていませんが、神経発達症を抱えるお子さんの割合は徐々に増え続けていることが知られています。また、最近では「大人の発達障害」も話題で、さまざまな理由で幼少時期に神経発達症と診断されなかった方が、社会に出てつまづいたことをきっかけに受診をして、改めて神経発達症と診断されることもあります。

親と子どもの心療科では、神経発達症が疑われるお子さんに対して、幼少時からの情報を細かく伺い、様々な検査を通して診断を行い、適切と思われる介入を行っています。



病院からのお知らせ

提案書からの改善報告

本院では、患者さんへのサービス・アメニティー等の満足度向上を目指し、患者満足度委員会において、院内に設置してある提案箱へ投函された提案書のご意見から、サービス改善策を検討し実施しています。

現在、1ヶ月あたり約50件のご提案をいただいております。提案書は、回収次第、現場で対応を進めるとともに、その後開催される委員会にて1件ずつ検討することで、院内のサービス向上に努めています。

サービス改善における主な対応については、外来棟1階中央待合ホールに設置されているモニターへ掲示しています。

患者さんが利用する設備や機器などは、日々の点検や定期的な更新を実施していますが、2023年度下半期では、特に以下の改善を実施しました。

〈院内における主な設備面の改善〉

外来棟1階会計窓口において、濃い水色の背景に青文字で記載されていた「青色番号札」の案内表示を見やすくするため、背景を薄い水色、文字を黒色に変更



Nagoya Disease Information Center ナディック通信



名大病院公式 YouTube チャンネル

患者情報センター（広場ナディック）は、2024年3月より書籍やパンフレットの閲覧の利用を再開しています。病気に関する書籍や資料を揃えており、気軽に閲覧できます。感染対策をとりながら運営しておりますので、皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご了承くださいませようお願い申し上げます。



〈利用可能日〉入院患者さん：月・水・金曜日
外来患者さん：火・木曜日

〈利用時間〉平日10時～13時（休日祝日年末年始を除く）

がん患者さん向けの「ウィッグ・頭皮ケア相談」については外来棟1階「地域連携・患者相談センター」にてがん相談員が随時対応しております。

（問い合わせ先 地域連携・患者相談センター 052-744-2663）

診療に医学生が参加します！

卒後臨床研修・キャリア形成支援センター長 錦織 宏



名大病院にはさまざまな医療職を目指す学生がいますが、今日は医学生の話です。医学生は6年間の教育を受けたのち、国家試験に合格すると晴れて医師になるのですが、2021年に医師法が改正され、指導医の監督のもとであれば、高学年の医学生も医師と同じような診療行為を行うことができるようになりました。この変更を受け、名大病院も含めた全国の医療機関では診療に医学生がより参加するようになってきました。よって、みなさんが当院を受診された際、学生が話を聞いたり、診察したり、というような場面が、今後より増えることとなりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。また、何か不安なことがありましたら、監督する立場の医師にお伝えください。

特定基金 医学部附属病院支援事業へのご協力をお願い

当院では本事業を通じて、診療環境の充実、患者さんへのサービスのさらなる向上、先進的な臨床研究の推進を進めてまいります。皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

詳細は、ホームページまたは外来棟1階に置かれているパンフレットをご覧ください。

URL : <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kikin/hosp-kikin/>

QRコードでもアクセスできます！



禁煙のお願い

患者さんの健康をサポートすべき医療施設として、病院敷地内の全面禁煙を実施しています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

